

# 男女共同参画社会の実現をめざして

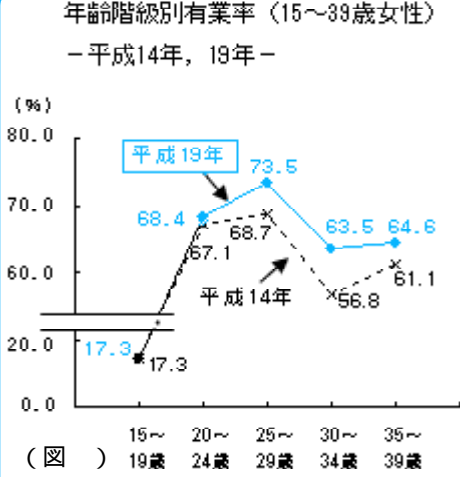
## 若年層の女性の就業状況

本格的な人口減少社会の到来を迎え、少子高齢化の進展や団塊世代の定年に伴う労働力不足による経済社会の持続的発展への影響が懸念されています。こうした情勢の中、女性の就業支援や労働力確保も課題となってきましたが、男女共同参画社会の実現に向けた課題とは何かを考えてみましょう。

## 女性の有業率の上昇

総務省統計局では、若年層の女性の就業状況について、平成19年就業構造基本調査の結果を中心に取りまとめました。

本調査の結果から15～39歳女性の就業状態は、20歳以上ではいずれの年齢階級において女性全体の有業率は上昇しており、特に「25～29歳」と「30～34歳」で



は、平成14年に比べて大幅に上回っていることが明らかになりました。(図)

夫婦と子どもがいる世帯のうち、妻の年齢が15～39歳の世帯では、妻の年齢が高くなるに連れて有業率も高くなってきています。(図)

平成14年に比べますと、まだ子どもが幼いとみられる「25～29歳」では4.3ポイント、「30～34歳」では5.7ポイントの上昇となっています。

育児をしながら働く女性の増加

図のうち、末子が12歳未満である世帯において、末子の年齢階級別に妻の有業率をみ

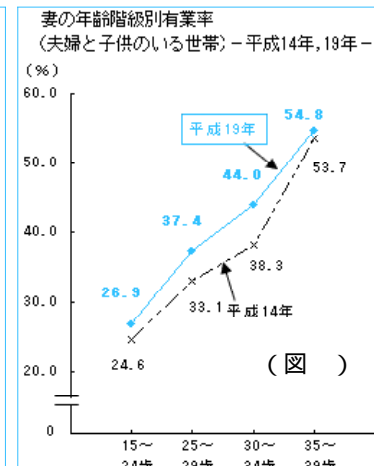
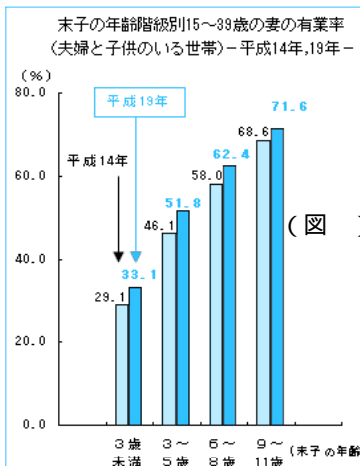
ると、末子が「3歳未満」の3割強から「9～11歳」の7割強と変化してきています。(図) また、平成14年に比べると、有業率は末子のいずれの年齢階級においても上昇しており、「3歳未満」では4ポイント、「3～5歳」では5.7ポイントの上昇となっています。

このような統計結果からは、未就学の子どもの世帯においても育児をしながら働く女性が増えてきていることがうかがえます。

男女がともに働き続けられるために...

こうした女性の労働力が増加している背景には、経済的な課題や社会保障も影響していると思えますが、「男は仕事、女は家庭」という従来の意識が残っているという「働きたくても働けない女性」や「働き続けることが困難な状況」が生まれてくることも想定されます。男女共同参画社会の実

現のためには、こうした意識や男女差別の解消をはじめ、労働条件や環境の改善、社会的支援体制の確立、そして、男女平等に関する意識を少しずつ育んでいくことが必要ではないのでしょうか。



**天塩川だより**

和寒町

**わっさむ東山ジャイアントスラローム大会**

幼児から一般までの選手がエントリーし、今年も迫力あるレースが展開されます。選手たちの活躍にご期待ください。

- ・とき 2月15日(日)
- ・ところ 和寒東山スキー場

問い合わせ 和寒町教育委員会 ☎0165(32)2477

中川町

**「なかがわ雪あかり」**

ひっそりとした森の中に、樹木を和紙で包んで中からライトアップしたあんどんやアイスキャンドルの暖かい灯りが、訪れる人を自然と一体化した幻想的な安らぎの世界に案内します。初日、午後5時30分からの点灯式では、カウントダウンの後、一斉に点灯。焼肉コーナー、コロッケやてんぷらなどの屋台や売店、打ち上げ花火がイベントを盛り上げます。

- ・とき 2月14日(土)～18日(水)
- ・ところ 中川町オートキャンプ場「ナポートパーク」(ポンピラ温泉隣)

問い合わせ 中川町観光協会 ☎01656 2117